平成２７年度　　学習指導部　年間分掌マネジメント

岩美町立岩美中学校

学校教育目標	校訓「みずから学び　みずから鍛え みんなと生きる」を体現する生徒の育成
重点努力事項	(1)質の高い授業を実践することによって基礎・基本の徹底と思考力・判断力・表現力の育成をバランスよく図り、自ら課題意識を持って友と高め合うことのできる生徒を育成する。 (2)あらゆる教育活動を通じて辛抱・我慢できる心、困難に打ち勝つことのできる精神力、自己コントロールできる力を鍛え、強くたくましい心と体を育成する。 (3)人のために自分には何ができるかを考え行動することが、最終的に自己理解や自分を大切にすることにつながることを実感させ、将来の進路選択への展望を持たせる。
分掌重点目標	学び続ける生徒を育成する。（１）学習規律が徹底できる生徒（２）情報を基に、自主的に行動できる生徒

H26年度成果と課題 Do&Check	H27年度への提言 Action	分掌がめざす生徒の姿	分掌目標 Plan	主な活動 Do	活動へ向けての努力事項 Do	到達目標	評価基準(Check)	成果と課題 Do&Check	来年度への提言 Action
教職員質問紙８③→86% 学習委員の仕事として授業評価を返すクラスと返さないクラスがある。 授業の中では意識させるポイントを持って展開できていることが多い。 教科会で聞く話すを意識させるポイントをまとめる。 教職員質問紙８④→72% 教職員質問紙８⑤→89% みんな頑張っている。学習委員の働きかけもしている。 教職員質問紙８⑥→74% 45分授業が多すぎると実践に支障が出る。 開始時刻は徹底できていることが多いが、終了時刻が守れていないことが多い。 教職員質問紙８③→33% 休憩時間、放課後に時間が取れない。会議が入ることがある。 本に触れる機会がない。朝読がない。 ICTに頼っていると資料として本を使うことが減ってくる。バランスが難しい。 教職員質問紙８⑦→93% 管理の部分では今の状態で進めていくこと。 教職員質問紙８⑧→96% 情報委員の訂正しますが多い。事前の調整・確認が必要である。	教科会における聞く話すの意識の工夫、改善を図る。 ロッカーの整備、持ち帰りリストの作成。 ロッカーの上にものは置かない。（植物など） 朝読実施に向けて、評価規準の検討。 本に触れる機会を増やすこと。 放送を利用して、より正確な情報を全校生徒に提供する。 ホワイエ、階段における掲示の整備。 学年の取り組み、進路意識を高める情報の共有をはかる掲示。	一生涯、学び続ける生徒を目指す	学習規律の徹底	学習規律	・授業中の姿勢の徹底 聴く・書くときの姿勢 ・話す・聞くのスキルの向上 返事、声の大きさを意識する。	生徒に話す・聞く、姿勢、声の大きさを意識させる授業ができる。 生徒に話す・聞くについて適切な評価を返すことができる。	〈教職員質問紙〉 生徒に話す・聞く、姿勢、声の大きさを意識させる授業ができた。 〈教職員質問紙〉 生徒に話す・聞くについて適切な評価を返すことができた。		
				学習環境整備	・教室掲示物の徹底 ・ロッカー、机の中の整理整頓 ・ホワイトボードへの掲示、活用の徹底 ・時間厳守の徹底	教室掲示が全クラス統一できる。 ロッカー、机の中が整理整頓されている。 授業開始2分前までに教室に入り、授業終了時刻を守る。	〈学年で確認〉 必要最低限の教室掲示が全クラス統一できた。 〈生徒質問紙〉 ロッカー、机の中の整理整頓をしている。 〈教職員質問紙〉 授業開始２分前には授業に出て、終了時刻を守った。		
			読書の推進	読書環境の整備	・朝の読書 ・図書館利用の推進（生徒・職員） ・利用しやすい図書館づくり ・図書の選定 （各教科の図書も含めて）	生徒が１ヶ月に１冊以上本を読む。 授業等で図書館利用、図書館の書籍、新聞等を活用することができる。	〈生徒アンケート〉 生徒が月に１冊以上本を読むことができた。 〈教職員質問紙〉 授業等で図書館利用、図書館の書籍、新聞等を活用した。 〈生徒質問紙〉 昼休憩や放課後に図書館を利用している。		
			情報（放送・掲示）の管理活用	放送、掲示を利用した生徒への情報提供	・校内放送 ・校内、教室内掲示の管理	生徒に正確な情報を提供できる。 校内・教室内掲示の管理ができる。	〈教職員質問紙〉 昼の放送放送は正確な情報をわかりやすく提供している。 〈教職員質問紙〉 校内・教室内の掲示物は適切に管理されている。		
年間３５時間の道徳の時間を大切にした指導ができた。しかし、生活の中で道徳的実践力に結びついていないと感じられる事象もあった。	副読本が変わるため、年間指導計画の見直しの必要がある。 道徳の教科化に向けて、評価のありかたや生徒の心に響く授業展開などについて研修を深める。		道徳教育の推進	全教科全領域における道徳教育の実施	・年間３５時間の道徳の授業の充実を図る。 ・ルール・マナー・モラルを大切にする指導を行う。 ・情報モラル教育を計画に位置づけ実施する。	・望ましい生活習慣の定着を図る ・礼儀の意味を理解しその場に応じた言動をとる生徒を育成する。 ・自他の生命を尊重する生徒を育成する。 ・秩序と規律を高める生徒を育成する。	〈生徒質問紙〉 ・社会のルール、マナー、モラルを大切にしている。 ・道徳の学習は学ぶことが多い。		